

利用マニュアル



kintoneへのインストール手順



kintone ヘルプ > 管理者ヘルプ > プラグインの管理 > プラグインを追加/削除する(システム管理)

アプリへの設定手順



プロダクトキー設定方法

プロダクトキーは保存時に自動生成されます。

プラグインを複数アプリに適用する場合、生成されたプロダクトキーをコピーし貼り付けて保存してください。



※初回設定時にプロダクトキーが表示されますので、忘れないよう保管してください。プロダクトキーが わからなくなってしまった場合は、サポートへお問い合わせいただきドメインをお知らせください。 設定項目

Eを追加する場合は(+)ボタンをク	ワリックしてください	、 (最大10	固)			
結合元フィールド						
結合するフィールドを選択してくださ フィールドを追加する場合は(+)ァ ※追加したフィールドが表示されない	さい。 ドタンをクリックし ^ー い場合は、アプリの言	てください。 役定を保存して	(最大2 てくださ	O(固) こい。		
● フィールド ── 固定文字列	作成日時	~	書式	YYYY-MM-DD H:mm	00	
🔵 フィールド 🛛 固定文字列	-		書式		••	
● フィールド ── 固定文字列	更新日時	~	書式	YYYY-MM-DD HH:mm	00	
区切り文字						
各フィールドを結合する際の区切り3	文字を指定してくだる	さい。				
複数値のフィールドの区切り文字	2					
复数値のフィールドを結合する際の[J	区切り文字を指定して	てください。				
c.						
結合先フィールド						
結合先フィールド[®] 結合結果を出力するフィールドを選択	尺してください。					
結合先フィールド[®] 皆合結果を出力するフィールドを選択 リッチエディター 〜	尺してください。					

	フィールド	結合元文字列をアプリ内フィー ルドから指定します。			
結合元 ィールド	固定文字列	任意の文字列を指定します。			
	書式	表示書式を指定します。 ※書式設定方法は設定画面下部 リンク参照			
区切り文字		各フィールドを結合する際の区 切り文字を指定します。			
複数値フィールドの 区切り文字		複数値フィールドを結合する際 の区切り文字を指定します。			
結合先フィールド		結合結果を出力するフィールド を指定します。 対応フィールドは以下の通り。 ・文字列(一行) ・文字列(複数行) ・リッチエディター			
下部 🕀		結合設定を追加します。			
再結合		全レコードに対して、結合処理 を行います。 ※設定を変更し、以前の結合状 態が残っている場合などに使用 します。			

フ

結合仕様

■文字列結合の実行 (PC)

プラグインの設定完了後、PC画面で以下の操作を行うと文字列結合が実行されます。

・レコード追加画面でレコードを保存する

レコードを新規で登録すると文字列結合が実行されます。レコードの登録に失敗した場合は文字列結合、行われません。

・レコード編集画面でレコードを保存する

編集画面で既存のレコードを更新すると文字列結合が実行されます。レコードの更新に失敗した場合、文字列結合は行われません。 ・レコード一覧画面でレコードを保存する

ー覧画面で既存のレコードを更新すると文字列結合が実行されます。レコードの更新に失敗した場合、文字列結合は行われません。 ・プロセス管理のアクションを実行する(ステータスを更新する)

レコードのステータスを更新すると文字列結合が実行されます。ステータスの更新に失敗した場合、文字列結合は行われません。 結合元に作業者を設定した場合、プロセス管理アクション実行前の作業者が結合先に表示されます。

・再結合を実行する

アプリ管理画面の「詳細設定」>「プラグイン」を開いて文字列結合プラグインの歯車マークをクリックし、 「再結合」ボタンをクリックしてください。アプリ内の全レコードに対して文字列結合が適用されます。

文字列結合には保存済みの設定が適用され、未保存の設定は適用されないことに注意してください。

■文字列結合の実行(モバイル)

プラグインの設定完了後、モバイル(スマートフォン)画面で以下の操作を行うと文字列結合が実行されます。

・レコード追加画面でレコードを保存する

レコードを新規で登録すると文字列結合が実行されます。レコードの登録に失敗した場合は文字列結合、行われません。 結合元にレコード番号、作成者、作成日時、更新者、更新日時を設定した場合、空の項目として結合先に表示されます。

・レコード編集画面でレコードを保存する

編集画面で既存のレコードを更新すると文字列結合が実行されます。レコードの更新に失敗した場合、文字列結合は行われません。 結合元に更新者、更新日時を設定した場合、前回更新時の更新者、更新日時が結合先に表示されます。

制限事項

・結合の対象となるフィールドは最大20個までとなります。

・結合の対象として選択できるフィールドタイプは下記の通りです。

文字列(1行)、文字列(複数行)、数値、ラジオボタン、チェックボックス、複数選択、ドロップダウン、日付、時刻、日時、 添付ファイル、リンク、ユーザー選択、組織選択、グループ選択、ルックアップ、レコード番号、作成者、作成日時、 更新者、更新日時、ステータス、作業者

- ・次のフィールドタイプは文字列結合の結合元として設定できません。
 文字列(1行)に自動計算を設定、計算、関連レコード一覧、テーブルに含まれるフィールド、文字列結合の結合先として設定した
 フィールド(循環参照となるフィールド)
- ・複数値のフィールドの区切り文字で、複数値を設定可能なフィールドタイプは下記の通りです。 チェックボックス、複数選択、添付ファイル、ユーザー選択、組織選択、グループ選択
- ・複数選択の各項目はフィールドに設定された項目の並び順に従って結合されます。

・結合先として選択できるフィールドタイプは下記の通りです。 文字列(1行)、文字列(複数行)、リッチエディター

プラグイン適用イメージ





トライアル期限や、契約期日を超過してご利用の場合、アプリの一覧画面で下記ダイアログが表示されアプリを利用することができません。

その場合、アプリからプラグインを削除するか、ご契約の更新をお願いいたします。





- ・ゲストスペースに対応しています。
- ・モバイル端末に対応しています。
- ・セキュアアクセスに対応しています。
- ・SAML認証に対応しています。
- ・Basic認証に対応しています。
- ・LGWAN環境に対応しています。
- ・「moconavi」のセキュアブラウザ「mocochro(モコクロ)」に対応しています。